



# 久井公民館だより

平成26年 10月1日発行  
発行/三原市久井公民館 〒722-1412 三原市久井町和草614番地 No. 111号  
電話・FAX/0847-32-7139

日増しに秋も深まり、過ごしやすい好季節となりました。澄み渡った夜空を見上げて、神話物語に登場する星座を探してみたいかでしょうか。  
”スポーツ・味覚・読書・芸術”の秋も満喫したいですね。



## 簡単な編物体験講座

日時：10月11日(土)13:30~15:30  
場所：三原市久井公民館  
講師：中川 栄子さん  
参加費：1,100円  
持参物：筆記用具・編み針  
定員：15人  
締切り：10月10日(金)まで  
申込先：三原市久井公民館 TEL0847-32-7139



## 子ども体験講座 けん玉の技に挑戦!

日時：10月26日(日)  
10:00~12:00  
場所：三原市久井保健福祉センター  
講師：川北 英明さん

”久井さわやか高原祭り”の会場であります。是非ご参加ください。お待ちしております。

## 講座開催

### いちじくジャムを作ろう 始めてみようハーモニカ



いちじくの皮をむいて鍋に入れ、砂糖とペクチンを加えてしばらくグツグツ煮ると”いちじくジャム”の完成! 旬をクレープに挟んでいただきました。”味覚の秋”は最高でした。

地域の方々から以前より「ハーモニカの講座をしてほしい。」との声があり、やっと実現しました。吹いたり吸ったりのハーモニカ。小学生の頃に習ったのを思い出しながら楽しむことができ、講座がミニ演奏会のような感じでした。



## 講座ワンポイント

### 初心者の野菜作り講座

平成26年度の講座を少し早めにスタートしたので、9月19日に閉講式をしました。

#### ☆秋冬野菜の病害(土壌伝染性)

アブラナ科の作物の根こぶ病、各種野菜の苗立ち枯れ病、萎凋病など

- ①発生してからの治療ができないので、発生しにくい土づくりが基本。
- ②苗植えをする場合は、健全な苗を植え付ける。
- ③汚染土壌の混入に注意をする。
- ④土壌消毒をする。
- ⑤抵抗性のある品種の利用など。



#### ☆トレイ育苗について

【播種後2週間】

- ①灌水はできるだけ午前中に行う。(日暮れにはトレイがやや乾くくらい)
- ②播種後10日~2週間目以降は、できれば屋外で育苗し、風や夜露に当てる。
- ③トレイの土は乾きやすいので、灌水に気を付ける。



## 杭・久井・くい コーナー

「三原市久井歴史民俗資料館」の民俗資料から生活文化について触れてみましょう。



No6 じんりきかりとりき 農具5【鎌・人力刈取機】

日本では、弥生時代に水田稲作が広まったとされています。稲作が始まった頃、稲の収穫には「石包丁」という農具が使われました。

弥生時代後期に鉄製の「鎌」が登場し、稲の収穫に使う農具は徐々に石包丁から鎌にとって変わりました。が、鎌を使った稲刈りは、腰を曲げた状態が続くので辛い作業でした。

昭和時代前期には、これまでの農家の作業負担や農村の労力不足を解消するために生まれたのが「人力刈取機」(長さ130cm、幅25cm、奥行40cm)です。柄の先についたV字形の刃を稲の株に押しつけて刈ります。2~3株を刈り取った稲の稈を、機械の側方に並べていく作業方式です。画期的な農具でしたが、刈った株がばらけるなどの理由で、さほど普及しませんでした。

昭和時代中期になると刈り取りと結束を行うバインダや、稲刈りから脱穀・選別まで一遍に行うコンバインという機械が普及しました。それでも鎌は、狭い田んぼでの稲刈りや草刈り、木の枝を落とす作業などには、今でもかかせない農具の一つです。

次号は農具6をご紹介します。